

目次 ● 巻頭言… 1-2 ● 危機管理委員会／組織図… 2 ● 理事・新理事・委員紹介… 3
● 監事紹介／新入会員紹介… 4 ● 各部からのお知らせ… 4-5

巻頭言 会長 稲井一吉

◆一年を振り返って



昨年は、コロナ抜きでは語れない年となりました。世界の誰もがこのような状況に陥るなどとは想像し得なかったはずです。

さて、私達の宮鍼会を振り返れば、初めての事態に手探りで対応した一年でした。公益事業の柱であるスキルアップ研修を

始め長年続けてきたスポーツ及び老人ホームへのボランティアがことごとく中止となり、事業らしい事業を実施することが困難となりました。宮鍼会創設以来のこのような事態に、「事業を中止すべきか否か？その代わりにどのような方法がとれるのか？」等など、次々と決断が迫られ、結果的には準備したことが中止や延期となってしまい、悩ましい年だったと言わざるを得ません。今は強烈な向かい風の中を歩いているに等しく、何とか辛抱して耐え抜く以外に道はなさそうです。このようなコロナ禍だからこそ、私達の普段行っている治療スタイルの見直しや新たな治療法の開発、仕事の目的確認など、自分自身を見つめる良い機会として捉えることも大切ではないかと思えます。

さらに、集まる機会がないため先生方との意思疎通がなされず、悩みを抱えたまま孤立しているのではないかと心配です。今の時代は直接会えなくても携帯電話やメールがありますので、一人で不安を抱え込まないで会員同士、また私達役員でも構いませんので、ご相談をいただきたいと思えます。

しかし、こうした状況下において、今年度ようやく会報が出せるに至ったことを大変嬉しく感じています。詳しいコロナにおける会員実態調査の総評や今後の事業展開については後半の行に譲るとして、このようなコロナ禍において新たな可能性も発見することが出来ました。その一つはオンラインでの繋がりを持てることです。私が理事会をオンラインで実施したこと、また他団体のオンライン講習会に参加した感想として、会場のような臨場感で聞くことが出来るのか？講義内容がきちんとこちらに届くのか？また質問など主催者と参加者とのやり取りは可能なのか？様々な疑問がありました。これらの疑問に対し、私が想像した以上に好感触を得ることが出来ました。本会でも時間や距離的な問題でこれまで研修会に参加できなかった先生方へのフォローが出来そうです。

また、以前から考えにあった「委員・会員との意見交換会」もこのオンラインを通じて可能性が見えてきました。

さて、個人的なことになりますが、この一年は様々な予定が中止になり、その分の時間ができました。その時間でこれまでやれなかったこと、例えば昨年リフォームのために押し込んだ荷物の整理や片付けや、また近場ですが妻と出かけて自然や風景を楽しんだことなど、少し心の余裕も感じることができました。とは言えいつもコロナの不安と背中合わせなので、完全にリラックスできることはなかったことも確かです。但し、時間的余裕はプラス面ばかりではなく、いつも土日は会の行事や研修会で不在のことが多かったのですが、土日・祝日も常に妻とは顔を合わせる事となり、お互いストレスを感じ小競り合いになることもしばしばでした（笑）

コロナ禍の禍は「わざわざ」ですが、‘禍転じて福となす’の諺もある通り、身の回りのすべてを学びとするなら、この状況からでも学ぶことは多くあると思えます。この学びを糧にして、今後の飛躍に転じて参りましょう。

◆今年度の経過報告と来年度の事業方針について

今年度の事業経過については凡そ前記した通りですが、少し追記をしておきます。

会員実態調査を、4月と8月に実施しました。結果として不足品については、4月はマスクと消毒資材がかなり不足していましたが、8月はマスクの不足はほとんどありませんでした。しかし、消毒資材の不足傾向は現在も続いていますので、前もっての備蓄を心がけてください。どうしても手に入らないときは、宮鍼会で幾分ストックしていますのでご連絡ください。

また、患者来院数では、8月は4月よりやや改善傾向はみられたものの、全体の2/3は例年よりも減少しています。その後11月以降もコロナ感染者は増え続けていますので、8月実施時期よりも数字が悪化していることは想像に難くありません。

この実態調査の結果を受け、さらに追記すべきこととして会費のことがあります。先日の会費納入案内でも記載していますが、理事会で議論を重ねた結果として、公益社団の会費についてはキャッシュバックの形で負担軽減をさせていただきました。2月末を目安に先生方にお渡しいたします。

来年度の事業方針については、コロナのワクチンが私たちに届くまでしばらく時間がかかることを考えると、まだまだコロナの影響は続きそうです。しかし、その中でもやれることを見極め前進すべきと考えています。

その一つとして、私が就任当初からスローガンとして「経済的に豊か、心も豊かな鍼灸師の会にする」を目指して参りました。そして若い会員の活性化の取り組みも進めていくことを述べてきました。その軸に従って方針を検討していますが、それをもっと具体的に表現してみます。

以下は、以前セイリンが「医者の日本」のアンケート調査から抜粋し、私達に問いかけてきたものです。

◎どうしたら患者はふえるのか？「鍼灸に興味はあるが受けない」という方の理由ってご存じですか？

- 1位 どんな治療かわからないから不安
- 2位 時間の余裕がない
- 3位 費用が不安
- 4位 どこで治療してもらえるかわからない
- 5位 治療が痛そう(熱そう)

鍼灸患者をもっと増やせたら・・・とお悩みの先生、ぜひ一緒に考えてみませんか？

こうして見ると、必ずしも技術面の問題や治療が痛い(熱い)というだけではないようです。要するにこれらを改善すれば患者数が増える可能性があるということになります。これらを参考にこの内容を揉んで、スキルアップ研修カリキュラムを組んでみようと考えています。

ここで大事なことは、これまで役員中心の視点からカリキュラムを組んできましたが、会員の皆様、特に若い先生方の考えをよく聴き、取り入れるために、前記したオンラインを導入し意見や情報を交換しながら原案を作成して参ります。

そして、来年度の大きな事業として70周年記念事業があります。本来、今年度開催予定でしたがコロナにより1年延期いたしました。70年という節目の事業なので多くの作業とそれに関わる人が必要です。これまでは役員が中心となり行ってきた事業ですが、役員の平均年齢も現在かなり上がっており、私達だけで準備するには限界があります。ぜひとも、先生方のお力をお借りしながらコロナに打ち勝った証としてこの事業を成功させたいと考えていますので、お声がかかりましたら、どうかご協力の程をお願い申し上げます。

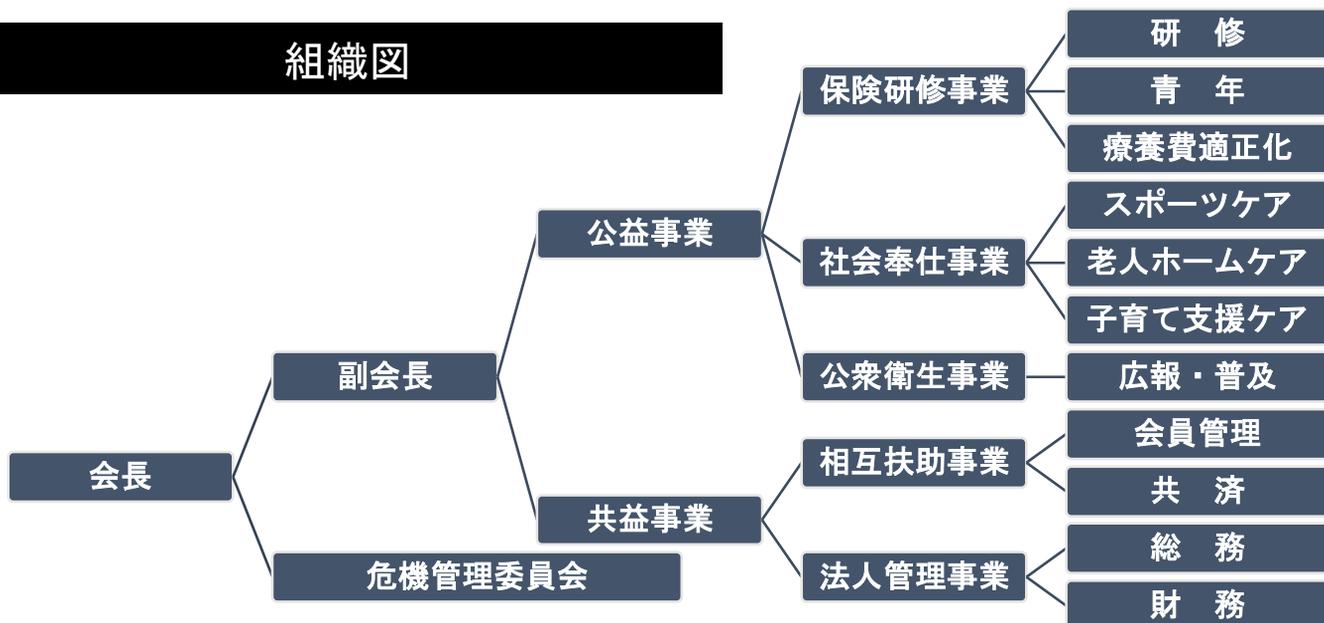


新設 危機管理委員会

今年度、新たに危機管理委員会を設置しました。一昨年開催した災害支援鍼灸師養成講座とその直後に発生した台風19号による丸森町と大郷町の災害ボランティア活動を通じて感じたことは、突然起こる災害にどのように対応すればよいか、常にその準備がないとすぐには行動できない、ということです。大きな震災を経験した私達だからこそ、発災時に素早く行動できる知識を備えてなくてはなりません。そのためにも災害に対し、速やかな情報収集と初動対応、その後の支援、受援体制ができるように準備することが設置の目的です。

今年は、東日本大震災から丁度10年になります。過去の教訓を忘れないためにも、会員各位には常に危機意識を持っていただくと共に、そのための研修等も実施して参りますので、実施の際にはぜひご参加ください。

組織図



理事紹介



会長 稲井 一吉
社会奉仕事業部長
危機管理委員会委員長
稲井はり灸院
(仙台市青葉区栗生)



副会長 今野 正弘
法人管理部長
(財務、副総務)
鍼灸資生堂今野接骨院
(大崎市古川幸町)



副会長 小林 徹
保健研修部長 (保険)
康安鍼灸接骨院
(仙台市泉区北中山)



理事 高橋 博
公衆衛生部長 (広報・普及)
相互扶助部長 (会員管理・共済)
はりきゅう処 楽庵
(仙台市青葉区鷺ヶ森)



理事 前田 由紀枝
法人管理副部長 (総務)
たんぽぽ鍼灸院
(仙台市青葉区中山)

委員紹介



高橋 壽成
危機管理委員会委員
往診専門 はり・きゅう 壽楽
(仙台市泉区長命ヶ丘)



神成 有己
財務委員
神成接骨院
(仙台市泉区将監)



山内 俊彦
保険副部長
みちのく整骨鍼灸院
(仙台市太白区金剛沢)



下條 静
総務委員
下條鍼灸院
(仙台市青葉区落合)



高橋 はるか
広報・普及委員
I T・会員管理委員
鍼灸指圧マッサージ治療遥温堂
(仙台市太白区金剛沢)

新理事紹介



理事 村上 理恵 保険研修副部長 (学術) / 鍼灸りえる (宮城郡利府町中央)

この度新しく理事に就任いたしました村上理恵と申します。
鍼灸が地域の人々の健康に役立つことが広く知られるよう、また会員の皆様の臨床・経営に役立つ活動ができるよう、微力ながらお手伝いさせていただきたく思います。経験の浅い先生方のニーズも積極的に取り上げ、会の活動に反映させていきたいと思っております。
会員の皆様、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

監事紹介



監事 賀川 秀真

かがわ治療院
(仙台市宮城野区栄)



監事(外部) 樋口 五郎

新入会員紹介

篠原 優子 先生



Q 1. 開業または勤務地
篠原整骨院(仙台市太白区東中田)

Q 2. 卒業学校名
赤門鍼灸柔整専門学校

Q 3. 趣味
猫を愛でること(6匹います!!)

Q 4. 宮鍼会に望むこと
わからないことばかりなもので、見当違いの質問も
多々してしまうかもしれません。お手数をおかけいたします。

Q 5. 入会にあたりひと言!
未熟すぎる鍼灸師ですが、歩みをとめず、一人前になれるように前進して
いきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



各部からのお知らせ①

◆総務部より

【厚生労働大臣免許保有証】はお持ちですか？

保有証はあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師免許証の保有を示すための携帯用カードのこと。発行手続き、更新(5年毎)のご案内は毎年7月上旬にお送りします。費用は4,000円ですが、当会会員には2,000円の補助が出ます。(注) 手続き後、保有証がお手元に届くのは翌年3月頃となります。今年是非保有証を取得されることをお勧め致します。(注)日鍼会の会員であることが条件です。



◆研修部より

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の点から、研修事業の開催が困難でした。次年度の活動についても感染状況に影響を受ける可能性はありますが、リモートでの研修や、感染予防を講じての研修会など、感染拡大を予防しながらの研修を企画していきたいと考えております。「こんな研修会を開いてほしい」など、ご意見・ご希望ありましたら、遠慮なくご連絡いただければと思います。

◆相互扶助事業部より

【賠償保険加入証発送について】

令和3年日本鍼灸師会総合賠償保険の更新手続きが終了いたしました。保険加入証は3月中旬にお送り致します。万が一事故発生の際はパンフレットの保険会社(又は代理店)にご連絡ください。

【会員名簿、地図について】

現在の宮鍼会HPの治療院情報は名簿的で、見た人の参考になっているか検討致しました。もっと地域別や施術の特徴の紹介など、一般の人が見て探しやすい治療院情報に、また、宮鍼会会員が他の先生の情報を知ることによって情報交換や勉強会など会員同志の交流に活用できるようなものにしていきたいと考えています。

今後、先生方の治療院情報のご提供をお願いする予定です。ご協力、ご意見を願います。

広報・普及担当部長

高橋博 vril.tjm.manji@gmail.com



各部からのお知らせ②

◆保険研修部より

【療養費賦課金について】

令和2年度総会の際、出席会員から「新型コロナウイルス感染拡大している現状を考えると今年度の療養費賦課会費を以前の2%に戻したほうがいいのではないか」との意見がありました。それを受け、正副会長会議を経て理事会にて検討の結果、令和2年度については、療養費賦課会費は2%に戻すことが決定しました。

令和3年度以降の賦課会費については今後の状況を踏まえ、会員の先生方のご意見を聞きながら理事会により決めて参りたいと思っております。

【再同意書の取得について】

新型コロナウイルスによる医療機関でのクラスター発生等のため、外来受付が中止となり、再同意が受けられないケースが出ています。

もし、貴院の患者さんでそのようなケースが生じた場合、まず宮鍼会保険部までご連絡下さい。

(ご準備いただく書類)

1. 再同意を受けられない患者さんのリスト (医療機関ごとに記載)
2. 同意書の写し
3. その同意書に基づく施術分の直近の申請書の写し等

事案に基づいて、日鍼会から厚労省に報告し対応を協議することになります。

担当 宮鍼会保険部長 小林 巖 090-1937-0360

Mail kckqf866@yahoo.co.jp

◆日本鍼灸師会Eラーニング研修制度 (NELS) お知らせ

日本鍼灸師会Eラーニング研修制度 (NELS) を活用していますか？

現在まで「臨床基礎コース (CFS) Step 1, 2」が配信されており、上位講座LES, PDSを受講するにはCFSの修了が必要です。

(Step 2 の受講は1年以上の会員が対象)

Step 1, 2 の主な内容

- ・リスク管理鍼灸師編 (part 1-6・患者編part 1-4)
- ・鑑別総論 1~5
- ・カルテの書き方 1~2
- ・依頼状の書き方 1~2
- ・慢性痛の鍼灸治療
- ・頭痛の鍼灸治療

【お願い】

入退会、氏名、治療院名、住所、電話番号、メールアドレス等などの変更がありましたら、速やかに宮鍼会事務局まで必ずご連絡ください。事務局にて宮鍼会名簿、日鍼会名簿、賠償保険など複数の変更手続きを致します。

<宮鍼会連絡先>

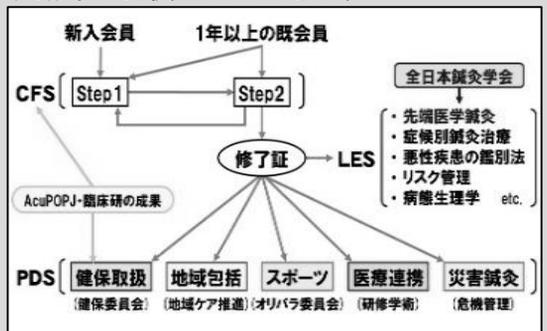
MAIL: miyasinkai@yahoo.co.jp (QR)

事務所電話番号: 022-391-8297



●現在2021年3月末迄の期限限定で上位講座LESの「保険取扱い疾患シリーズ」を無料配信しています。(CFSの修了が必要です。)

「保険取扱い疾患シリーズ」の内容
腰痛、頸の痛み、肩関節の痛み、膝痛
ぜび、臨床にお役立てください。



【新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しましょう。】

- ・マスク着用
- ・手洗い、手指消毒
- ・患者さん、スタッフの検温
- ・換気、院内消毒
- ・スペースの確保など



宮城県鍼灸師会「70周年記念行事」のお知らせ
 延期とさせて頂いております70周年記念行事につきまして、下記の通り実施予定です。
 詳細につきましては決まり次第お知らせ致します。

令和3年10月10日(日)
 記念事業 赤門鍼灸柔整専門学校 国分町校舎
 記念式典・祝賀会 江陽グランドホテル

会員の皆様のご参加、ご出席お願い致します。

編集後記

仕事、日常生活に不自由を感じ始めて1年。じぶんの仕事、日常生活を守るための1年でした。これでいいの？コロナ後を少しでもプラスに変えなければ。いつやるの？コロナ後？今でしょ!! 人間社会が何を問われているのか？人間社会を宮鍼会と読み替えたなら？何が見えて来る？キーワードは定款の目的!!原点に還れ!!但し、新しい発想、行動力で。今回の会報は、コロナ禍の中、宮鍼会の事業中止に伴い従来型の会報の制作は断念せざるを得ませんでした。しかし、今会員の皆さんに何を伝えるべきか？その一点に焦点を当てて制作しました。また、PCアドレスを登録頂いている先生には初めて配信にてお送りしました。もちろん、PCご利用でない先生には郵送にてお届けしています。どれだけの先生方に見て、読んで頂けるか不安ですが。配信形式や内容についてご意見お願いします。 高橋博 vril.tjm.manji@gmail.com

発行所:(公社)宮城県鍼灸師会
 〒989-3122 仙台市青葉区栗生4-15-10

TEL/FAX: 022-391-8297
 MAIL : miyasinkai@yahoo.co.jp
 編集担当者 高橋博・高橋はるか

KANAKEN ディスポ鍼 光華 KŌKA

- 鍼を鍼管からスムーズにリリースできます。
- 刺入時の切皮痛を極限にまで減少しました。
- アレルギー予防のコーティング。



鍼の太さ別カラー鍼管を採用。

ディスポ鍼 光華 (1箱 100本入)

KN-160 800円+税

(クラスII) 認証番号 220AGBZX00234000
 針体材質: ステンレス製
 エチレンオキシドガス滅菌済



AI設計の鍼管は施術時のリリース動作をより効率的にいたしました。

※但し、針長2寸(60mm)のサイズはAIリリース方式ではなく、タブ付の鍼管になります。



サイズ表

太さ	長さ	カラー	1寸 30mm	1寸3分 40mm	1寸6分 50mm	2寸 60mm
0番(0.14mm)		白	○	○		
1番(0.16mm)		緑	○	○	○	
2番(0.18mm)		黄	○	○	○	
3番(0.20mm)		青	○	○	○	○
4番(0.22mm)		桃		○	○	
5番(0.24mm)		紫		○	○	○
8番(0.30mm)		白				○

※但し、2寸は当面タブ付にて販売させていただきます。

総発売元 株式会社 **カナケン**
 本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
 TEL 045-901-5471(代) FAX 045-902-9262
 オンラインショップ <http://e-kenkou.jp/> E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL 06-6935-3016(代) FAX 06-6935-3017
 新潟営業所: TEL 025-286-0521(代) FAX 025-286-8870
 福島営業所: TEL 024-961-7211(代) FAX 024-961-7221
 仙台下張所: TEL 022-287-6273(代) FAX 022-287-6218